

宝泉地区の門構えの透明水彩画を描いていることを、菱の実会だより 268 号で紹介したが、その後、長屋門・環濠のある家が結構現存していることが判り、引き続き探しながら写生画を続けている。現在、24 点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。そこで、現存する物件を、水彩画で、かつての姿を想像復元して描くことに挑戦している結果を、逐次レポートする。

1 回目は右表の 3 件。一般物件は、実名は避け、町名表示にした。

1 番・沖野屋敷：数年前のウォーキングで延命寺の東隣に屋敷林と環濠のある長屋門を持った家を見つけた。今は長屋門と母屋は青トタンをかぶった良く見る屋根だが、自称萱葺き大好き画家として、今回、昔の美しい萱葺き長屋門に描いた。新田の荘の豪農の名残だと思うが、調べて無い。

2 番・由良屋敷：宝泉地区の長屋門は由良にもう一軒ある。赤石酒店の西隣のお屋敷だが、一見して、まず長屋門と気付かない。大幅に改造されている上、相当傷んでいる。そこで復元するとこんな外形だったろうと良い所取りで美しい外形に描いた。環濠は無い。

3 番・市野井屋敷：県道 2 号線から生品神社に向かって中間位の道路の西側にある。現在の長屋門は住居使用されていないが、居住の為に少なくとも二度は改築されている。最初は南側に長屋門と同じ造作で建て増ししてあり、そのまま描いたが、北側に二度目の造作と思われるアルミサッシのガラス戸と台所らしい小屋部分は雰囲気に合わないの、省略した。敷地内には屋敷林や孟宗竹林があり、西側に「通木(つうき)」と言う湧水があって、かつての巨石流水庭園の名残が残っており、環濠の水源でもあったか。「通木」の看板によれば、岩松氏の家臣で、15 世紀に近江の国から、ここに移り住んでいるとか。

<お願い> 探しだすのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。

尚、私のホームページで、拡大画やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/)

(次回につづく)

番	名称	所在地	門・濠
1	沖野屋敷	太田市沖野町	門・濠
2	由良屋敷	太田市由良町	門
3	市野井屋敷	太田市市野井町	門・濠



一番  
沖野屋敷



二番  
由良屋敷



三番  
市野井屋敷



この記事の特徴は、①現存する物件を探しだし、②当初の姿を想像復元し、③水彩画で描くこと、の挑戦結果報告だ。掲載の絵のように、長屋門が単独ですっきり見えていることは少ない。いろんな角度から写真を撮って、描画につなげる。

現在、24点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。

2回目は右表の3件。一般物件は、実名は避けて町名表示にした。

4番・彦部屋敷：桐生市広沢6丁目にある重文の知名度の高い、1560年に出来た中世武士の館。ここは保存状態が非常に良く、長屋門・環濠ともにあり、更に長屋門、主屋、隠居屋は萱葺き屋根の歴史的建物。見学日は土、日で、¥500。公道に沿って無料の広い専用駐車場がある。

5番・寺井屋敷：演奏ライブの出前に行った富若町の名士に長屋門の所在を尋ねたら、「この地域には無いが、絵画仲間の寺井町の家が長屋門だ。」と。そこで、すぐ行ってみた。長屋門は自営業の事務所などに改造されていた。母屋は元は茅葺で、今は赤トタンをかぶった良く見る屋根だが、長屋門は瓦葺の組み合わせ。長屋門は元の姿に、母屋は茅葺屋根に描いた。敷地の周囲が長屋塀で囲われているのは、初めて見た。環濠は無く、低地なので出水に備えた土塁に囲まれているとか。

6番・安養寺屋敷：国の登録有形文化財。太田市の公式HPに2件載っている内の1件で、早速現地調査。旧尾島町安養寺町地内の旧R354に面した北側にあるが、今迄全く気付かなかった。焼失したが昭和10年頃元の形に再建したという。かつて名主も務めた多角経営の豪商の屋敷。門の左は昭和20年代に貸家にするために改造したそれぞれに玄関が付いた2軒長屋の初めて見るユニークな構造の長屋門で、そのままの形で、金山を遠景にして描いた。環濠は無い。

<お願い>探し出すのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。

尚、私のホームページで、これらの大きい画像やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/) (次回につづく)

番	名称	所在地	門・濠
4	彦部屋敷	桐生市広沢町	門・濠
5	寺井屋敷	太田市寺井町	門
6	安養寺屋敷	太田市安養寺町	門



四番  
彦部屋敷



五番  
寺井屋敷



六番  
安養寺屋敷

この記事の特徴は、①現存する物件を探しだし、②当初の姿を想像復元し、③水彩画で描くこと、の挑戦結果報告だ。掲載の絵のように、長屋門が単独ですっきり見えていることは少ない。いろんな角度から写真を撮って、描画につなげる。

現在、24点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。

3回目は右表の3件。一般物件は、実名は避けて町名表示にした。

7番・新田溜池屋敷:国の登録有形文化財。太田市HP掲載の2件目。新田暁高校北西の新田溜池町にあるかつての村名主の屋敷。道路に面して見通せる数少ない長屋門だ。明治6年頃に建てられた豪壮な長屋門は、2か所に門がある初めて見る構造。赤城山を遠景に描いた。環濠は無い。

8番・武鷹館:館林市大手町にある観光武家屋敷武鷹館の門兼事務所として使われている長屋門。もともとここに在ったものではなく、武鷹館設立のために、埼玉県のとん舎から移築したとの記事も見たが、正しいか不明。

9番・正福寺山門:ネット検索(余湖図コレクション群馬県の城址)で見つけた太田市内の物件で、早速現地調査。敷地内に富沢町集会所がある。長屋門の右側は三面アルミサッシガラス戸に改造して使われているが、屋根のスレートを瓦屋根にして、元の姿に描いた。ネット記事によると牛沢城址に寺が出来ているらしいから、何処からか移設したものだろう。

<お願い>探し出すのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。

尚、私のホームページで、大きい画像やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/)

番	名称	所在地	門・濠
7	溜池屋敷	太田市新田溜池町	門
8	武鷹館	館林市大手町	門
9	正福寺山門	太田市富沢町	門



七番  
新田溜池屋敷



八番  
武鷹館



九番  
正福寺山門



この記事の特徴は、①現存する物件を探しだし、②当初の姿を想像復元し、③水彩画で描くこと、の挑戦結果報告だ。掲載の絵のように、長屋門が単独ですっきり見えていることは少ない。いろんな角度から写真を撮って、描画につなげる。

現在、24点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。

4回目は右表の3件。一般物件は、実名は避けて町名表示にした。

10番・光恩寺山門：ネット検索(千代田町HP)で発見。日本最初の女医・荻野吟子の家から移設したもので、彼女の菩提寺光恩寺の山門になっている。もとは茅葺屋根であったが、2001年吟子生誕150年祭の時、今の瓦屋根にしたそうなので、茅葺に描いた。

11番・新田村田屋敷：そうだ。こんな近くにあったんだ。何年前に、車で走っていて偶然見つけたこの長屋門を失念していた。地元の名士に長屋門らしき所在を3か所教えて貰ったが、いずれも普通の瓦門でがっかりして走っていて、今回も偶然出会えて思い出した次第。橋に欄干が無いので見落とす所だったが、門前に「あっ、環濠だ！」って、久しぶりに環濠とも巡り会えた。

12番・武家屋敷：館林市大手町の武家屋敷にある。旧野辺町(現館林市野辺町)の豪農「松澤家」が利用していた長屋門を利用して、武家屋敷長屋門として、平成21年に新築したもの。高さ6.6m、幅17.9mという「歴史の小径」のシンボル。以上ネット記事から引用。

<お願い>探し出すのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。尚、私のホームページで、大きい画像やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/)  
(次回につづく)

番	名称	所在地	門・濠
10	光恩寺山門	千代田町赤岩	門
11	村田屋敷	太田市新田村田町	門・濠
12	武家屋敷	館林市大手町	門



十番  
光恩寺山門



十一番  
新田村田屋敷



十二番  
武家屋敷

この記事の特徴は、①現存する物件を探しだし、②当初の姿を想像復元し、③水彩画で描くこと、の挑戦結果報告だ。掲載の絵のように、長屋門が単独ですっきり見えていることは少ない。いろんな角度から写真を撮って、描画につなげる。

現在、24点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。

5回目は右表の3件。一般物件は、実名は避けて町名表示にした。

13番・上之宮屋敷：昨年、太田からのバスツアーの窓越しに、大きい立派なお屋敷が連立するこの場所が印象的で、でも場所名は分からなかった。先日たまたま伊勢崎の義兄にその話をしたら、それは上之宮だ。今から見に行こう。と言う訳で現地調査。県道5号線北側玉村町の手前で偶然、長屋門も発見した。泥壁と板張りの目立つ色合いの長屋門だ。西堀に沿って堀が流れており、環濠の遺構かもしれない。

14番・森村屋敷：国の登録有形文化財の旧森村代官屋敷。表門は豪壮な武家門で、裏門が長屋門になっている。裏には最近の家がびっしり建て込んでいて、距離が無く全体写真が撮れない。門の東側は石垣で趣があるが、西側は真新しい板塀に切妻屋根の最近の工事で、板塀の途中から屋根付の長屋塀みたいな造りになるのでそうかなと節穴から覗いて見たら、囲いの無い物置場だった。環濠は未確認。

15番・連取東屋敷：14番森村屋敷の東隣りにあるお屋敷。並んで長屋門があるとは裕福な土地だったのだろう。遠目に漆喰のナマコ壁と思って「おっ、すげー」と写真撮って、近づいて見たらモルタル吹付？みたいな壁で、がっかり。この見慣れたトタン屋根は茅葺に被せたのだろうから、絵は茅葺屋根に描いた。環濠未確認。

<お願い>探し出すのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。

尚、私のホームページで、大きい画像やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/) (次回につづく)

番	名称	所在地	門・濠
13	上之宮屋敷	伊勢崎市上之宮町	門・濠
14	森村屋敷	伊勢崎市連取町	門
15	連取東屋敷	伊勢崎市連取町	門



十三番 上之宮屋敷



十四番 森村屋敷



十五番 連取東屋敷



この記事の特徴は、①現存する物件を探しだし、②当初の姿を想像復元し、③水彩画で描くこと、の挑戦結果報告だ。掲載の絵のように、長屋門が単独ですっきり見えていることは少ない。いろんな角度から写真を撮って、描画につなげる。

現在、24点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。

6回目は右表の3件。一般物件は、実名は避けて町名表示にした。

16番・高林南屋敷：ネット検索で発見し、即、現場調査&スケッチ。八千石の旗本、本多氏の郷代官であった豪農富沢家の屋敷で、高林陣屋の表門と長屋門が当時のままに残されている。初めて見た二階建の長屋門。二階は明治築らしく、場所柄から養蚕用だったろうと推測。環濠は在ったらしく、北と西に堀と土塁の遺構があるらしいが未確認。

番	名称	所在地	門・濠
16	高林南屋敷	太田市高林南町	門・濠
17	小泉東屋敷	伊勢崎市小泉町	門
18	小泉西屋敷	伊勢崎市小泉町	門



十六番 高林南屋敷

17番・小泉東屋敷：長屋門の情報提供を頼んでおいた脇屋の友人から、小泉稻荷神社の大鳥居の傍に長屋門の屋敷が二軒並んであるとの連絡が入り、翌朝、小雨を押して現地調査。あった。きれいに手入れされた、まさに現役的長屋門だ。何故か門の上部に御幣付のしめ縄が飾ってあった。



十七番 小泉東屋敷

18番・小泉西屋敷：これも脇屋の友人紹介の二軒目。でも門前に家がびっしり建て混んでいて、距離がなくて全体写真が撮れない。ここも門の上部に御幣付のしめ縄が飾ってあった。この二軒は門に連なる塀の掛け方が同じで、同じ大工による造作かな。



十八番 小泉西屋敷

<お願い>探し出すのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。

尚、私のホームページで、大きい画像やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/)

(次回につづく)